

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業N o.	14-	1
会計	款	項
特会		目
課名	上下水道課	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	上水道施設	目的 (対象がどのような状態になっているか)	上水道の安定供給のため、水道施設更新計画及び経営戦略に則り、事業を着実に推進し、経営効率化や収入確保対策を行い経営基盤の安定化を図る。
事業内容			・原水及び浄水費・水源地等施設の動力費、点検委託料、修繕費等に係る費用 ・配水及び給水費・公道漏水等修繕費等、配水及び給水に係る費用 ・総係費・2名分人件費、料金徴収業務等、事業活動の全般に係る費用 ・減価償却費・有形固定資産等の減価償却費 ・その他・固定資産除却費、貯蔵品減耗費、その他営業費用、企業債利息 ・水道拡張費・1名分人件費、上水道管理事務所更新工事及びその他配水管布設工事 ・企業債償還金・企業債元金償還金	

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1 水質基準達成率	100	100	100	%	→	100
	2 導水管、送水管更新延長	—	—	—	km	→	—
	3 有収率	86.2	88.3	87.9	%	→	88.00
	4						
	5						
			令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (予算)		
全体事業費 (千円)			604,339	541,079	703,757		
財源 内訳	うち一般財源		700	2,500	2,600		

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町閥与の必要性	C民間企業やN P Oで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	C削減の余地が大きい
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	経営基盤の強化に努めながら施設の延命化、投資の平準化等、計画的な事業の推進を図る。施設更新に合わせ、機器による省力化と電力消費を抑える運用を行う。	③取組の課題	今後、管路更新工事を実施するにあたり、多額の費用が継続的に必要な中、実施できる人員、人材、施工業者が不足する等、官民ともに人材育成が必要である一方、財源である水道料金は水需要の低下が予測される。
②R6年度に実施した取り組み	令和3年度から令和6年度まで、上水道管理事務所において耐用年数が経過した電気・機械設備の更新を行った。また、稼働率の高い低圧送水ポンプモーターのスペアを確保し、上水道の安定供給に努めた。	④今後の改善計画	経営基盤の強化に努めながら施設の延命化、投資の平準化等、計画的な事業の推進を図る。また、広域化・民間活力の活用を図るため包括的民間委託を導入し、官民連携による事業運営を目指す。